

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です

小学4年生

福祉教育がスタート

手話体験で感じた “伝え合う喜び”

～みんな支え合いながら生きている～



9月5日 手話体験/西牟田小学校

点字体験

ゲスト講師と交流したあと、実際に名前や文章を点字で書いてみます。



「初めて会った人に手話で話しかけてもらうと嬉しい」
9月5日に西牟田小学校で行われた手話体験での一コマです。この日講師を務めた井形美子さんは、「手話は聴覚障害者にとって気持ちを伝える大切な手段です。みなさんも大切に使ってください」とも話されました。
また、手話でのあいさつ表現などを学んだ子どもたちは、早速、覚えた手話を使って講師に話しかけ、伝わる喜びを感じていました。
最後には、「いろいろな人と助け合いながら、そして工夫しながら生きていることが分かった」という感想も。誰もが助け・助けられながら生きていることを意識する機会となりました。

でこぼこ体験

見た目では分かりづらい生きづらさを、体験を通して学びます。



車イス体験

ゲスト講師の生き方に触れ、実際に校内を車イスで移動します。



今年も始まった小学校での福祉教育。9～11月にかけて、全小学校で点字体験、手話体験、車イス体験、でこぼこ体験が行われ、「共に生きる」を学んでいきます。
それぞれに当事者やその家族がゲスト講師になり、普段の暮らしについてや、覚えておいてほしいことなどを伝えていきます。

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります

おやこでボランティア体験 参加者募集

今年は、ちっこ祭りの会場で募金活動を行います

- と き** 10月19日(日)
10:00受付 10:10開始
12:30頃 解散予定
- 集合・解散場所** 筑後市総合福祉センター
(筑後市野町680-1)
会場まで福祉バスで送迎します
- 対 象** 市内の小学生
(保護者の同伴が必須)
- 定 員** 10家族程度
- 持ってくる物** 水筒、帽子
- 申し込み** 要予約
右記 または、
お電話でお申し込みください
- 問 合 せ** 福岡県共同募金会筑後市支会
(筑後市社会福祉協議会内)
TEL: 52-3969
- 締め切り** 10月14日(火)



申し込みは
こちらから

「じぶんの町を良くするしくみ」赤い羽根共同募金。市内の活動に約86%が、全国の障害福祉施設や災害支援活動に約14%が活用されます。今年も10月1日から運動が始まります。皆様のご協力を願います。お願いいたします！

7月と9月には総合福祉センターで親子向けイベントを開催し、集まった参加費は全額を赤い羽根共同募金へ寄付しました。



7月26日こどもクエスト

精神障害のある人のための 居場所・交流スペース **かたる〜む**

★10月の開設日のお知らせ★

- と き** 10月10・24日(金) 13:30~15:00
★予約不要・時間内出入り自由
- と ころ** 筑後市総合福祉センター(野町680-1)
- 問 合 せ** 筑後市社会福祉協議会
TEL 52-3969 FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp



点訳・音訳広報を 利用してみませんか？



点訳グループむつみ会、音訳グループみずぐるまでは、障害や病気などで「広報ちくご」や「議会だより」、「社協だより」を読むことができない方へ、点字や音声で情報をお届けしています。



広報紙の他にも、取扱説明書や時刻表、個人的に読みたい本などの点訳・音訳にも対応しています。

お気軽にご相談下さい。

- 利用料：無料
- 問合せ：筑後市社会福祉協議会
☎52-3969 ✉info@chikugo-shakyo.or.jp

余っている食品を 必要な家庭へ



食べる予定のない、お米・インスタント食品・レトルト・缶詰・乾麺などがあればご寄付ください。

★賞味期限が概ね3か月以上ある物に限ります

ファミマでも
フードドライブ
されています！

受付場所 筑後市総合福祉センター、
ファミリーマート筑後長浜店 寄付受付BOX

問 合 せ 筑後市社会福祉協議会 ☎ 52-3969



筑後市介護予防生きがい活動支援デイサービス

にこにこサークル

**利用者&体験利用者
募集中!**

にこにこサークル(介護予防生きがい活動支援デイサービス)は、65歳以上の高齢者がレクリエーションや参加者との交流を通して、身体機能の向上・生きがいづくりを行うことを目的とした通いの場です。

利用者は、会場の総合福祉センターに送迎車で到着後、体操や季節の創作活動、脳トレ・ゲームなどに取り組みられています。誕生日や季節のイベントも好評です。1日体験利用(送迎あり)ができますので、お気軽にご連絡ください。



対象者 : 65才以上のチェックリスト該当者または要支援者
 場所 : 筑後市野町680-1 (筑後市総合福祉センター内)
 利用時間 : 10:00~15:00
 利用回数 : 週に1回
 利用料金 : 1,100円 (送迎・昼食・おやつ代金込み)
 体験料金 : 600円
 《お申込み・お問い合わせ先》
 TEL : 0942-52-9123 (社会福祉協議会ステーション)

介護をしている人のための 介護講座

介護の方法を学んだり、同じ介護者同士が悩みを話し合える場として介護講座を行います。

介護ストレス編

怒り・後悔…。自分の気持ちとの付き合い方

講師 : デイサービス絆 施設長 川島豊輝さん

場所 : 筑後市総合福祉センター (野町680-1)

とき : 10月19日(日) 10:00~11:30

対象 : 家族を介護されている方

参加費 : 無料

不登校・ひきこもりの方の家族会

サルビアの会 に来てみませんか?

同じ立場なら話せる! 分かり合える!

とき : 10月4日(土) 14:00~15:30

ところ : 筑後市総合福祉センター (野町680-1)

内容 : 学習会、交流会

対象 : 不登校やひきこもりの方の家族

問合せ : 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

障害のある人の兄弟姉妹の会です

ふくおか・筑後きょうだい会

~同じ立場で語り、交流しましょう~

とき : 10月19日(日) 14:00~16:00

ところ : 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ : ●ふくおか・筑後きょうだい会

✉ chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

●筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677



ひきこもり家族相談会

とき : 10月16日(木) 13:00~16:00

ところ : 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

★10月9日(木) 17時まで **に要予約**
(1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

問合せ・予約 : 筑後市社会福祉協議会

☎ 52-3969 ☎ 53-6677

社会福祉事業資金寄付

① 香典返し寄付の部 ★

野田 せい子様(故 広志様) 熊野
匿名様 (1件)

② 一般寄付の部 ★

○匿名様(1件)から現金の寄付がありました。

①②計 一、〇八〇、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

- 立山康弘様(和泉中)から野菜の寄付がありました。
- ユーコーラッキー37筑後店様(長浜)からお菓子の寄付がありました。
- 匿名様(1件)から食品の寄付がありました。
- 匿名様(1件)からチャイルドシートの寄付がありました。
- 野田せい子様(熊野)から紙おむつの寄付がありました。
- 匿名様(2件)から野菜の寄付がありました。

○匿名様(1件)からお米の寄付がありました。

○JAふくおか八女よらん野様(前津)から野菜の寄付がありました。

○(株)プレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました。

【いずれも8月1日～8月31日まで】

筑後市社会福祉協議会
公式LINE
様々な情報をお届け！
友達追加はこちらから



募集

子ども好きの方！
一緒に働きませんか？

地域学童保育所 補助員

勤務時間

月～土曜日の内、3～5日
平日 放課後から3～5時間程度
土・長期休暇 8:00～18:00の内、5時間程度



業務内容 市内の学童保育所の補助員業務
(詳しくはお問合せください)

給与 時給1,070円～1,120円

資格 不問

応募 市販の履歴書に記入の上、
下記へ提出(郵送・持参)して下さい

●申込み・問合せ／筑後市社会福祉協議会

〒833-0032筑後市野町680-1 TEL：52-3969

ひとり親家庭の親と子の

バスハイク



★唐戸市場、しものせき水族館 海響館

と き 11月30日(日)

集 合 筑後市役所前 8:15集合(17時帰着予定)

参加費 高校生以上 2,000円、小中学生700円、
3才～未就学児400円、3歳未満無料

対 象 ★ひとり親家庭の親子

※母子寡婦福祉会に未入会の方は、

当日入会(会費1,000円)をお願いします。

申込み 筑後市社会福祉協議会 52-3969

minnano_chikugo_bosi@yahoo.co.jp

締切り
11/5(水)

事務局通信

昨年度、地域の子ども会役員を務めました。コロナ禍を経て会員数は減少の一途をたどり、それに伴い役員を担う保護者の数も減っています。役員は仕事や子育てにも忙しく、最初は行事を減らし負担を軽減する話し合いをしていました。しかし歓迎会やドッジボール大会、お祭りなどの行事を行ううちに、みんなで協力してやり遂げようと、意識が変化していきました。

地域の方々が子どもたちのために力を注がれる姿や、行事を楽しむ子どもたちの笑顔を目の当たりにし、それぞれの行事の意義を理解したからです。

終わってみると、大きな達成感を得たと同時に、仲間との間には、一緒に闘った同志の様な絆が生まれ、「子どものため」の取り組みが、いつしか「自分のため」にもなっていました。

ボランティア活動に熱心な方々が口々に語られる「自分のために活動している」の言葉の意味を、少し理解できたような気がしました。

(明)